



心臓CT検査を受けられる方へ

I. 心臓CT検査とは

心臓の血管（冠動脈）の形態や動脈硬化の程度、心臓の機能が評価でき、狭心症を始めとする心臓病の診断に役立つ検査です。心臓カテーテル検査と比べると短時間かつ簡便ですが、不整脈がでたり血管へのカルシウムのつき方がひどいと評価が難しくなることもあります。病状に応じて心臓カテーテル検査との使い分けが必要ですので、主治医の先生とご相談ください。

II. 心臓CT検査では、お薬を併用して検査を行います。

ヨード造影剤を使用しますので造影剤の副作用、注意点については他の造影CTと同様ですが、心臓CTでは、きれいな画像を得る目的で撮影の際に他の薬剤を使用することがあります。副作用や持病で使用できない患者様には薬剤を使わない撮影をさせていただきますが、得られる画像の質が低下し、診断が困難となることがあります。

III. 造影剤について

造影剤には大量のヨードが含まれています。患者様の体重によって、50～80cc程度の造影剤を腕の静脈から注射します。注射した造影剤は腎臓が正常に働いていれば6時間ほどで尿と一緒に体から出ていきます。

造影剤を注射した患者様の3～5%に副作用が発生します。副作用には、くしゃみ、じんま疹、気持ちが悪くなる、かゆみ、吐く等が多くみられます。きわめてまれに、血圧が下がったり、声がしゃがれたり、冷汗がでたり、息が苦しくなることがあります。もし副作用が生じた場合は主治医や看護師が適切に対応します。検査中および検査後に何かおかしいと感じた場合は、すぐに教えてください。なお、造影剤を注射すると体がポカポカすることがありますが、これは心配ありません。

造影CT検査後、数十分から数日して、体がだるく感じたり、頭痛がしたり、じんま疹がでることがあります。これを遅発性副作用といいます。そのような場合は検査を依頼された医療機関や当院に電話等で連絡して指示を仰ぐか、来院されることをお勧めします。

造影剤による重篤な副作用の頻度は2.5万人に1人、死亡例は40万人に1人との報告があります。

CT検査では、勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合には、注射した部位がはれて、痛みを伴う事もあります。通常は時間がたてば吸収されますので心配ありませんが、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。

IV. 造影剤が使用できない場合等について

特定の病気や体質で造影剤により副作用が生じやすいことや病気が悪化したりますことがあります。

1. 造影剤を使用してはならない場合

- 1) ヨード造影剤により副作用を生じたことのある方
- 2) ヨードに過敏症のある方
- 3) 思い甲状腺機能障害のある方

これらの場合には造影CT検査を行いません。

2. 原則として造影剤を使用しない場合

気管支喘息、重い心疾患、重い肝障害、重い腎障害、多発性骨髄腫、褐色細胞腫、急性膵炎、マクログロブリン血症、テタニー等の病気のある患者様は病気が悪化したり、造影剤の副作用の頻度が高い傾向があります。また、妊婦では造影剤の胎児への安全性は確立されていません。これらの患者様は主治医と相談の上、造影CT検査を行うかどうか決めていただくことになります。

3. 慎重に造影剤を使用する場合

花粉症、薬や食物にアレルギーのある方、β遮断薬やインターロイキン2を使われている方は造影剤の副作用を起こす頻度が高いとされています。ビグアナイド系糖尿病薬も検査後に副作用を生ずる危険があります。お心当たりのある患者様は主治医までお申し出ください。

V. 造影CT検査前のお願い（注意事項）

造影CT検査をできるだけ安全に実施するために予約時及び検査直前に問診を実施しております。わかる範囲でお答えください（なお、造影検査はいつでも中止できます）。水分の制限はありません。水、お茶、ジュースなどを控える必要はありません。

検査直前の食事を控えてください。

・午前の検査では朝食を食べないで下さい。午後の検査では昼食を食べないでください。

・腹部CT検査では造影を行わない場合でも検査直前の食事は食べないでください。

服用中のお薬は医師の指示がない限り、通常通り服用してください。

造影剤は母乳へも移行します。検査後48時間は授乳を控えてください。

VI. 造影CT検査後のお願い

特に飲水制限がない方は造影剤を早く身体から出すために検査後にお水やお茶を飲むなどして水分を十分に補給してください。

その他、検査後に渡される注意事項をお守りください。また、疑問のある方は主治医や検査担当医、看護師に遠慮なく申し出てください。

VII. その他の薬剤について

1. ニトログリセリン：心臓の血管（冠動脈）を拡張させる薬剤です。薬の使用できない（禁忌）患者様以外は通常、使用しています。緑内障や高度の貧血のある方、勃起不全治療薬を服用されている方、以前にニトログリセリンで副作用の出た方では使用できませんので、お申し出下さい。

2. β遮断薬：脈拍をゆっくりにする薬剤です。脈拍が速い患者様では使用させていただくことがあります。以前に副作用の出た方や気管支喘息、重篤

な心障害、未治療の褐色細胞腫、血管がけいれんするタイプの狭心症（冠攣縮性狭心症）、低血圧のある方、偏頭痛治療薬（マクサルト）を服用中の方には使用できないのでお申し出ください。

VIII. その他

検査後にお渡しする注意事項をお守りください。また、検査に疑問、質問のある患者様は、主治医や看護師に遠慮なくお申し出ください。

※予約の変更は3日位前迄にお願いします。それ以降は業務に支障を来たしますので、なるべく御遠慮ください。

※心臓CT検査について何か疑問な点ありましたら、検査担当者又は下記の連絡先へお尋ねください。

磐田市立総合病院 放射線診断科
電話：0538-38-5000 (代)